

1 月に読みたい絵本特集

お正月＆冬の絵本

 <p>宮野 聡子 / 作</p>	 <p>鈴木 文子 / 文 鈴木 まもる / 絵</p>	 <p>もとした いづみ / 作 ふくだ いわお / 絵</p>
<p>お正月、おばあちゃんの家へ行ったきみちゃんは、いろいろなお雑煮にであいました。お友達のどの家にも、大切な味があったのです。行事（お正月）と食べ物（お雑煮）のよみきかせ絵本。 作者の宮野聡子氏は 1976 年東京都生まれ。女子美術短期大学情報デザイン科卒業。グラフィックデザイン会社、子どもの本専門店勤務を経て、絵本作家。代表作に「たっくんのおてつだい」等がある。</p>	<p>ぼくたち、救助隊。寒い冬でも元気だよ。山で大雪が降って困っていると緊急連絡。よし、救助隊、出動だ！ 雪をかきながら進んでいくと、トラックがすべって道から落ちていて…。6 人の小さな救助隊が大活躍する絵本。 文を書かれた竹下文子氏は 1957 年福岡県生まれ。作家。作品に「せんろはつづく」「すすめ！きゆうじょたい」等がある。絵を描かれた鈴木まもる氏は 1952 年東京都生まれ。画家、絵本作家、鳥の巣研究家。作品に「ぼくの鳥の巣絵日記」等がある。</p>	<p>子どもたちのところへやってきた「おしょうがつセブン」。羽根つきや凧あげをして遊んだあと、おせち料理をみんなで食べます。おしょうがつセブンは、黒豆や昆布巻きなどの由来や意味を教えてください…。 作者のもとしたいづみ氏は絵本・童話作家。作品に「てっちゃんのしりとりライオン」等がある。絵を描かれたふくだいわお氏は岡山県生まれ。絵本作家。「がたんたん」で絵本にっほん賞を受賞した。</p>

1 月の催しもの		催しもの
と き		
4 日 (水)	午前 11 時～ 午後 3 時～	冬休みおたのしみ会
8 日 (日)	午前 11 時～ 午後 2 時～	子どもビデオ劇場
21 日 (土) 22 日 (日)	午前 10 時～ 午後 4 時	冬のチャリティ 古本市
28 日 (土)	午後 2 時～	エコ工作と 環境おはなし会
9・16・23・ 30 日 (月)	午前 11 時～	あかちゃん絵本 よみきかせ会
7 日 (土) 21 日 (土)	午後 2 時～	「おはなし」と 「あそび」の広場
14 日 (土) 28 日 (土)	午前 11 時～	

- その他の本
- ◆ 「てぶくろ」 いもと ようこ / 作
 - ◆ 「ぼくのふとん」 鈴木 のりたけ / 作・絵
 - ◆ 「ゆきだるまのくに」 白土 あつこ / 作・絵
 - ◆ 「おもち！」 石津 ちひろ / 文
村上 康成 / 絵
 - ◆ 「しめかざり」 森 須磨子 / 文・絵
 - ◆ 「ゆきのうえゆきのした」 ケイト・メスナー / 文
クリストファー・サイラス・ニール / 絵
小梨 直 / 訳
 - ◆ 「ゆきだるまうさぎ」 田中 てるみ / 文
えがしら みちこ / 絵

俳句

「初茜」 ふそう俳句会

一句いま生れ出づるや初茜 吉野 童子
春めきて石のすきまに蕾かな 森 頌子
年始めすべて新しよき未来 米窪 章

川柳

扶桑川柳クラブ

涙拭き過去きつぱりと初日の出 飯田 重樹
さんま焼く猫は早くも膝の上 林 三郎
三ヶ日鶏の唐揚げ喰うは止す 土屋 夢子

短歌

「初春」 ふそう短歌会

八人家族に初春祝ふあたたかさ 和田 悦子
遠くなりたる故郷恋ほしむ 赤尾 洋子
二歳児に早く「おばあちゃん」と呼ばせたく
練習させたりママおらぬ間に 小野寺紀美代
わが去年の難の年去る 酉の年
羽撃き行かん明日を信じて

詩吟

「石鎚山」 海量法師

遠遊 千里 天涯を渡る
南予の山川 行路斜なり
ひとり石鎚の山色を起こす有り
暮春 三月 雪花の如し
「意」千里の遠くまで旅をし非常に遠い所まで来た。ここ南伊予の山は切り立ち川はめぐって道は斜めに続いている。唯、石鎚山だけがすばらしい山の景色を表して、晩春の三月だというのに花のように雪がまい降っている。

正風流二代目家元 山内 正風